



▲ 来日したパレスチナのマフムード・アッバース大統領と会談。



▲ 世界宗教者平和会議(WCRP)新春の集いに出席。立正佼成会 庭野日鏡会長、一燈園 西田多支止当番(代表)、UNDP日本代表などと乾杯。



▲ 水戸の梅大使の皆さんが国会事務所に来訪。水戸市観光協会の加藤会長、砂押副会長、中村副会長の同行です。



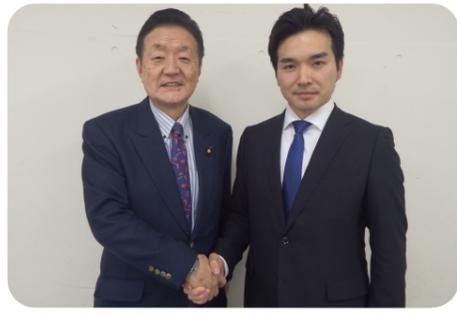
▲ 連合茨城春季生活闘争要求実現集会で水戸市内を行進。併せて郡司彰さんと全国比例区候補の激励集会も開催。



▲ 民主党茨城県連大会と陽春のつどいが開催され、長妻昭党代表代行が党を代表して出席。参院選候補「ぐんじ彰」県連会長の勝利のため結束を固めました。



▲ 沖縄県宜野湾市長選挙 志村憲一郎候補(中)の発給式に民主党を代表して出席。左は沖縄県の翁長雄志知事。



▲ 次期総選挙で勇退を決めている大島章宏衆院議員の後任として、33歳の浅野哲(あさの さとし)さんが決定。日立研究所勤務を経て、現在大島章宏衆院議員の公設秘書を務めています。



▲ 常総市で鬼怒川緊急対策プロジェクト着工式に出席。決壊した鬼怒川、八間堀川など無堤防地域の整備を行う計画です。



▲ 茨城県医師会新年会で、関東・東北豪雨の水害にあった常総市のきぬ医師会病院などの支援活動について報告。茨城県医師会 小松清会長(中)、原中勝征 前日本医師会会長(右)と。

人への投資で格差を縮め、希望を拓ける

安倍総理は、これまで2回の総選挙で「アベノミクス」の経済政策を訴え、議席を得ると先ずは「特定秘密保護法」を成立させ、次には「安保関連法」を強行採決しました。憲法を考へる事は大事ですが、安倍総理の目論む意図は多くの国民とズレていることが世論調査でも明らかです。経済を訴え、議席を得て勝利した後に、平和主義・国民主権・立憲主義を揺るがせる事を、三たび許してはなりません。郡司彰参議院議員は、これからの国の

かたちとして、競争至上社会ではなく、すべての人に出番と居場所のある共生社会の創造を目指しています。個人の努力だけでは乗り越えられない「格差の壁」が安倍政治でますます高くなっています。勉強したくても経済的理由等で進学できない子どもたち。非正規で充分能力を発揮できない若者。差別に苦しむ女性。「格差の壁」が人々の能力の発揮と経済成長を阻んでいます。郡司彰議員は人への投資でその壁を打ち破る政策を進めます。

- ぐんじ彰 プロフィール**
- 1949(昭和24)年水戸市生まれ。県立高萩高校、明治学院大学社会学部中退。
  - 内閣では、農林水産大臣、同副大臣。
  - 参議院では環境、監視、農林水産、東日本大震災復興特別各委員長等を歴任。
  - 党では参院議員会長、参議院国会対策委員長、経理局長、茨城県連会長等を歴任。
  - 議連活動では、森林環境政策議員懇談会々長、協同組合振興研究議員連盟会長、公営競技政策議員懇談会顧問。
  - 連合・団体では、連合組織内議員懇談会顧問、全国農団労組織内議員、連合茨城顧問、フード連合政策顧問、県カヌー協会顧問。



参議院議員 (茨城選挙区)  
ぐんじ彰  
https://www.gunji-akira.com/



民主党プレス民主編集部  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988(代表)

MINSHU 平成9年4月25日第3種郵便物認可  
【発行人】【民主党茨城県参議院選挙区第3総支部版】  
〒310-0852  
茨城県水戸市笠原町600-41-2F  
電話：029-297-8222 FAX：029-297-8221  
E-mail：info@y-fujita.com http://www.y-fujita.com



2016.03  
民主党国際局長  
元財務副大臣  
参議院議員

最終号  
ふじた幸久



新党結成への動き

『民主党』から『民進党』へ

民主党と維新の党との間で進めてきた新党結成の動きが最終局面に至り、新しい党名は世論調査も含めたプロセスを経て『民進党』となりました。3月27日の新党結成大会で正式決定されます。

2009年、皆様の圧倒的なご支援を賜り、政権を獲得した民主党ですが、内部分裂などもあり2012年には政権を失いました。それ以来、安倍政権に対峙する受け皿としての力を発揮できずに参りました。これを機に幅広く野党勢力を結集して、衆参同日選挙も念頭に闘って参ります。

私は1996年の旧民主党結成時から衆議院議員としての活動を初め、2007年からは茨城選挙区の参議院議員として今日まで一度も政党を変えることなく歩んできました。これを機に私自身も生まれ変わり、引き続き「国民生活の向上」と「真の世界平和と和解」のために全力で闘って参ります。皆様からの、これまでも増してのご支援を、心からお願い致します。

当号が「プレス民主号外」としては最終号となります。皆様、本当に有難うございました。

マイナス金利は地方銀行を追い詰め、地域間格差を広げる

黒田東彦日本銀行総裁を追及!!

3月4日参議院予算委員会で黒田東彦日銀総裁に質問しました。

私はまず、「マイナス金利」という名の金融緩和策の弊害について質問しました。黒田日銀総裁は、「貸出金利や住宅ローンの金利ははっきりと低下している。一方、預金金利はすでにかなり低い水準であるため、その低下幅は貸出金利に比べると小幅である」と答弁しました。つまり、個人預金が多い地方銀行の預金金利は下がり、貸出の割合の多い企業向け貸し出しや住宅ローンの金利が下がることは利ザヤが落ちる訳で、地方銀行や生命保険会社等は金融機関としての仲介機能が奪われ、裁量権限が日銀に奪われてしまうことを指摘しました。すると黒田総裁は、「銀行自身あるいは金融庁が、どのように地域の金融機関としての役割を果たしていくかは十分考えているだろう。私どもとしても側面から支援していきたい」と他人事のような答弁がありました。



私は「地方銀行が自律的な仲介機能ができなければ、ますます地域間格差が広がっていく」と強く指摘しました。

そして、武藤敏郎元日銀副総裁・元財務事務次官の「どこまでも金利を下げ続けることはできない。長期の継続性がどの程度あるかは疑問である」という批判や、ノーベル経済学賞受賞者のコロンビア大学のジョセフ・スティグリッツ教授の「金利の引き下げは格差を助長する」という指摘も紹介しましたが、黒田さんはそれに対してまともに答えませんでした。私は、財務副大臣時代に毎月出席していた日銀政策決定会合で、5対4でマイナス金利の導入が可決されたということは、総裁と二人の副総裁という執行部を1票と数えれば3対4で否決されていることになる、と述べ、この政策の危険性を強く指摘しました。

予算委員会の動画はこちら

## 訪米報告 (バラク・オバマ大統領と同席)

日米関係を重視する観点から、民主党の政策等を米国の政府・議員・有識者などに伝えると共に、米国大統領選挙とその後に向けての動向を探るため、民主党国際局長・NC外務副大臣である藤田幸久と古川元久 衆議院議員(民主党税政調査会長・経済連携調査会長)、樋口博康 民主党国際部長の3人で2月1日から6日までワシントンとニューヨークを訪問しました。

### 1 The National Prayer Breakfast (NPB) に出席

私の訪米最大の目的はNPB(3度目)への出席です。この会議は毎年2月に開催され、必ず大統領夫妻、米議会議長、米軍参謀長などが出席。今回オバマ大統領は、大統領として最後の参加で「難しい決断をしなければならない時には、心の中の恐れを克服し、欲望に負けず、愛の力によって決断しなければならない。指導者として謙虚さと慈悲の精神で正義を探求する。分裂してしまった人々を『愛』によってまとめることが大切だ」と世界各国から集まった3,000人を前に切々と訴え、大きな起立喝采を浴びました。また、ティモシェンコ前ウクライナ首相やサミ・ウケリ元駐日コソボ大使などがゲストとして招かれ、故国の紛争や政争による苦難や、その後の和解への努力、日本での活動などについて感動的なスピーチをされました。



バラク・オバマ米国大統領

### 2 米国政府関係

- (1) 連邦準備制度理事会(FRB)のスタンレー・フィッシャー副議長(右写真)と懇談。日米アジアの経済状況や通貨・金融政策について意見交換しました。中国に限らず日本の動向にも注視していました。
- (2) 国務省で、旧知のソン・キム国務次官補(前駐韓大使)、ジョセフ・ヤング日本部長と会談。年末の慰安婦問題に関する日韓合意を評価する一方、その実行に関する更なる努力に期待を示していました。日韓米の連携が重要だと感じます。
- (3) ホワイトハウスで国家安全保障局(NSC)のジョンストン日本部長と会談。北朝鮮問題や日米関係、基地問題、TPP等について意見交換しました。



フィッシャーFRB副議長と

### 3 シンクタンク・有識者

- (1) アメリカ進歩センター(CAP)にて円卓懇談会に出席(右写真)。ニーラ・タンデン所長、ヴィクラム・シン副会長、グレン・フクシマ顧問や民主党シンクタンク「全米民主国際研究所(NDI)」の幹部、マイケル・シーファー元国防次官補、米日議員連盟の共同議長であるジャクイン・カストロ下院議員、ダニー・メサ上級外交アドバイザーなど12名が出席しました。
- (2) マイク・モチヅキ教授(ジョージワシントン大学)ら日本研究者と昼食懇談会。モチヅキ教授ほか、ジェフリー・ホーナン博士・笹川平和財団アメリカフェロー、トビアス・ハリス・テネオインテリジェンス理事長と、「大統領選挙の米国」と「安倍政権下の日本」との国内外・両国関係の現状について意見交換しました。ワシントンには政府・メディア等を通じて安倍政権側の情報のみが伝わり、国会周辺での国民の連日のデモなどは全く伝わっていないとのこと。対ワシントン対策の重要性を強調されました。
- (3) リチャード・アーミテージ元国務副長官(右写真)、ロビン・サコダ元国防総省日本部長と面会。日米協力、安保、沖縄の基地問題、日本の民主党の動向などについて率直な意見交換を行いました。
- (4) 戦略国際問題研究所(CSIS)ジョン・ハムレ所長(元米国防副長官)と会談。日米安保と東アジア地域、中国情勢、TPPなどについて意見交換すると共に、民主党の考え方を紹介しました。ハムレ所長は沖縄の基地問題に関して、沖縄の歴史・負担・民意などに配慮した対応が必要だとの私見を示されました。



リチャード・アーミテージ元国務副長官と

### 4 労働組合

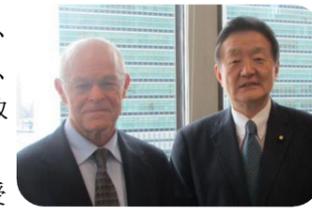
アメリカ労働総同盟・産業別組合会議(AFL-CIO)を訪問。ティア・リー事務局次長、トニー・チェン「ワーキングアメリカ」部長補佐、リズ・マックエルロイ政策部次長と

- ①「ワーキングアメリカ」という一般市民に対する草の根の相談活動を中心にAFL-CIOの活動、大統領選挙への取り組み、政策課題などについてヒアリング
- ②雇用・労働環境・賃金・TPPなど共通する政策課題について情報交換しました。

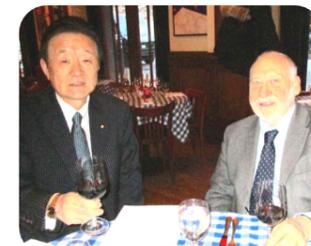


### 5 ニューヨーク

(1) 世界宗教者平和会議(WCRP)を訪問し、ウィリアム・ベンドレイ事務総長(右写真)、杉山恭一副事務総長と面談。サウジアラビアとイランのイスラム宗派対立による緊張関係、IS(イスラム国)による紛争や、テロにおける宗教指導者たちの取り組み、仲介活動、今後の取り組み等についてヒアリングしました。



ウィリアム・ベンドレイ事務総長と



スティグリッツ教授と

(2) ノーベル経済学賞受賞者のジョセフ・スティグリッツ教授(左写真)と懇談。経済成長が格差を拡大させていること、戦争経済が多くを紛争をもたらしていること、TPPが一部企業の利益の為に多くの国民の生活に犠牲を強いていることなどを率直に語って下さいました。

(3) 日本大使館の宮川さんと石井さんの案内で911メモリアルホールを訪問(右写真)。私は911の日本人被害者やニューヨークの消防士の犠牲者家族の支援活動を行ってただけに、胸に詰まる思いでした。戦争とテロの憎しみの連鎖を断ち切る切ることが最も大切であると改めて感じました。



吉川元偉 国連大使(左)、岡村善文大使(右)と

(4) 旧知の吉川元偉・国連日本代表部大使、岡村善文大使(左写真)、国連事務次長兼国連開発計画危機対応局局長の中満泉さんと懇談。慰安婦問題、北朝鮮等についての国連での対応ぶり、外交におけるセカンド・トラックの重要性、在外公館での危機管理等について話が弾みました。

### 藤田幸久 プロフィール

初の国際NGO出身の国会議員。  
ハイチ地震援助など世界51カ国を訪問。

- ◆1950年 日立生まれ
- ◆日立市二葉幼稚園・会瀬小・茨城大学付属中・水戸一高・慶應義塾大学文学部卒業
- ◆難民を助ける会と国際MRA協会理事
- ◆1996年～衆議院議員当選(2期・東京選挙区)
- ◆2007年～参議院議員当選(2期・茨城選挙区)
- ◆政府役職：財務副大臣
- ◆参議院役職：拉致問題特別委員長、財政金融委員長(2回)、国家基本政策委員長
- ◆民主党役職：国際局長(4回)、ネクスト外務副大臣、ネクスト防衛大臣
- ◆大学関係：聖学院大学非常勤講師、横浜国立大学非常勤講師

#### ☆インターン生・ボランティア募集☆

政治家の活動の現場を藤田幸久と行動を共にしながら勉強するインターン生も受け入れています。ボランティアも募集中です。

#### 国会見学と国政報告会のご案内

国会見学は数名から、国政報告会はご自宅でのミニ集会も大歓迎!

#### メールマガジン/Facebook/Twitterで

情報発信中!

ホームページからそれぞれ確認できます。  
是非登録をお願いします!

